生駒市における「望ましい学校規模の基準」とその考え方

(1) 望ましい学校規模（学級数）

国が示す望ましい学校規模(学級数)の基準は「小学校・中学校ともに12学級～18学級」であるが、小・中学校の現状と将来的な児童生徒数の推移及び小規模校、大規模校のメリット、デメリット等を総合的に考慮し検討した結果、下限数については、小学校においては、国の示す基準が概ね妥当とし、中学校においては、独自の基準として、部活動や学校運営の課題が一定程度解消されると見込まれる9学級とした。

また、上限数については、将来的な児童生徒数と教育活動や施設利用の理由から、小学校においては、国基準の18学級を上回る24学級とし、中学校においては、国基準の18学級を妥当とした。

ただし、中学校においては、校区により児童生徒数の増加・減少割合に差が見られることから、今後の状況変化等へも対応するため、19～21学級についても、許容範囲とする。

	小規模	望ましい規模	大規模
小学校	11学級以下	12学級～24学級(各学年2～4学級)	25学級以上
中学校	8学級以下	9学級～18学級(各学年3～6学級) (19～21学級も許容範囲とする)	22学級以上

(2) 望ましい学校規模（学級数）基準の考え方等

<小学校>

- ①すべての学年でクラス替えができる。多様な出会いを保障し、豊かな人間関係を構築しやすい。人間関係の固定化を避けることができる。人間関係に課題が生じた場合に、クラス替えによって対応することが可能である。
- ②各学年に複数の担任がいることで、性別・経験年数等バランスのとれた学年編成ができる。その結果、児童への多面的な指導ができる。
- ③ 小規模を上回る望ましい規模であることにより、運動会・音楽会等の学校行事の活性化が図れ、学校全体に活気が生まれるとともに、大規模を下回る望ましい規模であることにより、児童・生徒の移動等の面において、円滑に行事を行うことができる。
- ④ある程度の教員数が確保できることから、学校運営が余裕を持って行うことができ、様々な課題に対して組織的かつ適切に対応しやすい。
- ⑤ 大規模を下回る望ましい規模であることにより、特別教室や体育館などの学校施設の利用面から、教育の質を確保できる。

<中学校>

- ①部活動において、ある程度の部活数・部員数・顧問数が確保できる。
- ②小規模を上回る望ましい規模であることにより、体育大会・文化祭等の学校行事の活性化が図れ、学校全体に活気が生まれるとともに、大規模を下回る望ましい規模であることにより、児童・生徒の移動等の面において、円滑に行事を行うことができる。
- ③ある程度の教員数を確保できることから、学校運営が余裕を持って行うことができ、様々な課題に対して組織的かつ適切に対応しやすい。
- ④大規模を下回る望ましい規模であることにより、特別教室や体育館などの学校施設の利用面から、教育の質を確保できる。

(3) 1学級当たりの児童生徒数

1学級当たりの児童生徒数について、国基準では、小学校第1学年は35人、第2学年～第6学年は40人とし、中学校は40人となっている。

本市では、1学級当たり小学校第1学年30人程度(市独自)、第2学年35人(県独自)を基準とし、確かな学力の育成、きめ細かな指導等を目的として教育の充実を図っている。

アンケート等によれば、低学年は21～25人、中・高学年は26～30人が適切との占める割合が高いが、1学級当たりの児童生徒数を国又は県の基準と異なる少人数で運用した場合、学級数の増に伴う教員の財政負担はすべて市で賄うことになる。

教育的視点から見れば、市独自の基準による少人数指導の効果は得られるものの、実現性を考慮した場合、市財政に対する負担から、実現は困難であると言わざるを得ず、現時点で1学級当たりの児童生徒数に大きな問題点は見受けられないとの判断から、現在の基準が妥当であると判断した。

(4) 望ましい学校規模（学級数）による分類

望ましい学校規模(学級数)により、現在の学校を分類すると以下の通りである。(特別支援学級を除く。現行の小学校第1学年30人程度、第2学年35人学級を適用し、少人数学級編成を考慮していない。)

<小学校>

	小規模校 (～11学級)	適正規模校 (12～24学級)	大規模校 (25学級～)
R1	生駒北、生駒南第二 (2校)	生駒、生駒南、生駒東、真弓、俵口、鹿ノ台、桜ヶ丘、壺分(8校)	生駒台、あすか野(2校)
R6(推計)	生駒北、生駒南第二 (2校)	生駒、生駒南、生駒台、生駒東、真弓、俵口、鹿ノ台、桜ヶ丘、壺分(9校)	あすか野(1校)
R12(推計)	生駒北、生駒南第二 (2校)	生駒、生駒南、生駒台、生駒東、真弓、俵口、鹿ノ台、桜ヶ丘、あすか野、壺分(10校)	
R22(推計)	生駒北、生駒南第二 (2校)	生駒、生駒南、生駒台、生駒東、真弓、俵口、鹿ノ台、桜ヶ丘、あすか野、壺分(10校)	

<中学校>

	小規模校 (～8学級)	適正規模校 (9～18学級)	大規模校 (19学級～)
R1	生駒南、生駒北、鹿ノ台(3校)	生駒、緑ヶ丘、上、光明、大瀬(5校)	
R6(推計)	生駒南、生駒北、鹿ノ台(3校)	生駒、緑ヶ丘、光明、大瀬(4校)	上(1校)
R12(推計)	生駒南、生駒北、鹿ノ台(3校)	生駒、緑ヶ丘、上、光明、大瀬(5校)	
R22(推計)	生駒南、生駒北、鹿ノ台(3校)	生駒、緑ヶ丘、上、光明、大瀬(5校)	